

おおた 区議会 だより

No.205
平成25年7月21日発行



今号の花 ユリ
花言葉：貴重、稀少

第2回定例会号

主な掲載内容

- 第2回定例会を開催 1面
- 区政をきく(代表質問) 2~3面
- 第3回定例会の予定 3面
- 区政をきく(一般質問) 4~5面
- 区長挨拶 5面
- 第2回定例会で決まった議案など 6面
- 第2回定例会の請願・陳情の結果 7面
- 友好都市・姉妹都市から大田区議会に来訪 7面
- 大田区議会議員(議席と議会構成) 8面

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)

ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

(仮称) 障がい者総合サポートセンター 新築工事契約を締結

大田区議会は、平成25年第2回定例会を6月12日から21日までの10日間の会期で開きました。

定例会では、子育て、産業、教育、まちづくりなど各分野における区政の課題について、13名の議員が質問し議論しました(詳細は、2~5面に掲載)。

この定例会で上程、審議した主な内容は、次のとおりです。

- 区長提出議案として、仮称大田区立障がい者総合サポートセンター新築工事請負契約や平成25年度一般会計補正予算(第2次)など29件が提出されたほか、議員提出議案として条例案1件の議案が提出され、審議しました。審議の結果、議員提出議案については賛成者少数で否決とし、その他の議案は全て原案どおり可決しました(詳細は、6面に掲載)。
- 大森昭彦議員の監査委員選任を同意しました。
- 請願・陳情は、審議の結果、採択1件、不採択2件、そのほかは継続審査となりました(請願・陳情の結果は、7面に掲載)。



(仮称) 障がい者総合サポートセンター完成イメージ
(中央四丁目30番)



【地域で活躍する障がい者の方々】
障がい者福祉施設では、地域の皆さんの理解と協力をいただきながら、様々な活動を行っている。はぎな公園(萩中二丁目12番23号)では、パンの製造と販売を毎日行っているほか、くすのき園(南六郷三丁目23番9号)では、縫製や木工作業などに毎日取り組んでいる。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

区政をさぐく

代表質問

区民に誇れる区政と 更なる発展を目指して

自由民主党大田区民連合 大森 昭彦

「区の将来像について」

問 未来プランが21年4月にスタートして以来4年間、様々な事業に取り組みましたが、どのような成果があったと考えるか伺う。

答 地域力応援基金助成事業やmicsおわたの創設、東工大、東邦医大、片柳学園と協定を締結、自治会・町会など様々な地域団体の力を結集する一方、都が申請した国際戦略総合特区の一部に羽田空港跡地第1ゾーンを組み込んだ。問 基本構想を実現するための後期未来プランとして、今後更に強化しなければならないことは何か。

答 防災力の強化、高齢者に暮らしやすいまちづくり、空港臨海部のまちづくりは必要不可欠。問 グローバル化する世界経済の中で区内ものづくりの在り方を伺う。答 空港跡地に産業交流施設を構想、海外企業との技術提携などを行うマッチング機能を想定している。問 これまで日本のリーディング産業を支えてきた基盤技術の高度化について、区はどう考えるか伺う。答 25年度から工匠による高度な技術指導・相談事業も行っていく。問 ものづくり産業や医工連携、観光連携など、川崎市との産業連携協定締結での区の狙いは何か。答 ビジネスマッチングや商談会の共同開催で企業の成長を促し、地域の産業競争力強化を図る。



写真は、4月に大田区と川崎市の両者が交わした基本協定書の締結の様子。大田区と川崎市は、地域経済の活性化と国際的な課題解決に貢献するため、産業連携に関する基本協定を締結した。

問 医工連携における川崎市との連携のメリットは何か伺う。

答 区と川崎市が目指す医工連携の分野で大きな効果が期待されるほか、国内医療のイノベーションにも大きく貢献するものと考えられる。問 空港臨海部における道路ネットワークの課題について、24年度区が行った調査の成果と今後の対応について伺う。

答 国道357号の川崎方面への延伸、埋め立て島部の道路網の整備や現状を把握しつつ、都が予定している第8次東京港湾計画の改定に向けて区の考え方が反映できるように、整備方針を策定していく。問 多摩川連絡道路の構想など国や近隣自治体の動きがある中、羽田空港周辺の道路ネットワークに対して区はどう考えるか伺う。

答 区としては、国道357号の早期整備が最重要課題。空港周辺の道路整備について関係機関に働き掛け、内閣官房の呼び掛けで行われている特区間連携の検討会の場なども活用していく。問 日本が世界に誇る製品や文化の発信機能を、産業交流施設の付加機能として位置付けることで、空港跡地の利用価値が一層高まると考えるが、いかがか。

答 空港跡地に予定している産業交流施設では日本のものづくり力の発信と交流機会の提供を目指している。クールジャパンの発信や日本の製品やサービスを海外に売っていく場としての活用もあり得る。問 区においても、公共工事設計業務単価の特例措置を国に準じて適用すべきと考えるが、いかがか。

答 工事の品質確保や技能労働者に係る適切な賃金水準の確保の観点から、国に準じて特例措置を実施する。工事年度契約についても、同様に特例措置を実施していく。問 宮頸がん予防ワクチン

問 ワクチン接種による副反応の発生状況に鑑み、区としてワクチン接種を見合わせることはあるか。答 定期予防接種強化のため、区が見合わせを判断できるものではない。

問 接種対象者に対する事前の説明や副反応が発生したときの医療機関からの報告、健康被害に対する救済はどのようになっているか。

答 説明書にワクチンの効果、副反応、健康被害の救済制度などを記載。原則接種医についても対象者へ説明、保護者同意の上で接種する。健康被害発生の際、任意予防接種の場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の救済制度の対象となり、定期予防接種の場合は、予防接種法に基づく健康被害救済制度の対象となる。

問 区でも23年度からワクチン接種が実施されているが、副反応事例と保健所の対応について伺う。答 宮頸がん等ワクチン接種緊急対策促進事業実施期間中に1件、25年度の定期予防接種後に1件、副反応の発生を確認した場合、症状の程度にかかわらず、地域を担当する保健所の保健師が個別に状況と経過を把握し対象者からの相談を受けるなど支援に努めている。

問 待機児童解消に向けては、新たな保育施設の整備だけでなく、既存の保育資源を有効に活用していくことも重要と考えるが、いかがか。答 25年4月、パートタイム勤務者にも利用しやすいよう、大田区指定保育室を大田区定期利用保育室に事業移行した。既存施設の有効活用も含め、今後も効果的、効率的な保育サービスの提供に努める。

問 待機児童解消を効果的に進めるため、保育サービス基盤の拡充、ニーズに合ったサービスの選択ができるよう、仕組み作りが必要と考えるが、いかがか。答 子育て支援に関する地域資源の情報を集約し、身近な場所での保護者からの相談を受け、助言する新たな取り組みを検討している。

問 高齢者に使いやすい施設となり、利用者が増えるよう、椅子の配備が必要と考えるが、いかがか。答 広間や教室など和室で使える軽い低座椅子を早期に整備する。

区民のいのち、暮らし、 憲法を守る区政に

日本共産党大田区議団 金子 悦子

「暮らしと憲法を守る区政に」

問 憲法96条改定は、9条改定を狙う企てであり、平和都市宣言の大田区長として、反対すべきである。答 平和憲法を守り、核兵器のない平和な都市を築くことは、次の世代に向けた、我々の重要な使命であると考える。

問 橋下大阪市長の慰安婦容認発言は、公人としてあるまじき発言で、自治体の長を辞職すべきである。答 私の認識している人権意識と少し異なるかと考えている。

問 住民税非課税世帯だけに縮小された軽減策で、圧倒的多数の区民には大幅値上げになった国民健康保険料の値上げを中止すべき。答 国保財政には、一般会計から繰り入れ、国に財政支援の強化を求めている。

問 25年の待機児童数は、旧定義で数えると957人で、保育園に入れなかったために解雇された母親もあるなど深刻な状況である。保育園に入れなかった子どもの対策を早急に立てることを求める。答 待機児童解消対策は、スピード感を持った取り組みが重要。5月に古川グループ保育室の開設など、保育定員の拡充に努めている。

問 新聞報道によれば、財務省が公務員宿舎跡を保育所として提供可能とのこと。区も手をあげ、認可保育所増設に取り組みすべき。答 具体的な情報が明らかになった時点で、地域の保育ニーズなど待機児童解消対策としての有効性を見極めた上で、判断する。

問 今後交付予定の3億8千万円の地域の元金臨時交付金相当分の一般財源で、認可保育所1か所が区の負担3、200万円で作れる。一番の子育て支援になるのでは。答 安心ことも基金など国や都の補助制度を有効に活用して、保育サ

ービス基盤を拡充していく。

問 23年度のアスベスト検診では、健康調査35人中24人に所見がある。区内には100か所を超えるアスベスト関連工場があった状況から、希望する区民が受けられ、実効性があるよう見直すこと、無料に戻すことを求める。答 アスベストフォローアップ検診については、検診の在り方そのものを見直すことを研究する。

問 区民の願いに込めるおおた未来プラン10年の後期策定を

問 未来プランでは、待機児がゼロになるのに5年もかかる。待機児ゼロを早急に実現すべき。答 今後、保育サービスを含めたニーズ調査を行い、子ども子育て支援事業計画を策定していく。

問 子どもの健やかな育ちを保障するには、認可保育所の増設こそ必要。認証保育所ではなく認可保育所の増設計画を立てるべき。答 認証保育所は、待機児対策の有効な施策の一つである。

問 区立保育園の民間委託は、不安定雇用で低賃金の保育士を生み出している。民間委託はやめるべき。答 保育ニーズが急増している状況を踏まえ、多様な運営主体との連携、協働による保育サービスを提供するため、区立保育園の民営化を推進する。

問 第2子を2月から6月に出産予定のとき、第1子が認可保育所に入所している場合は退園しなくてはならない規定は、削除すべき。答 引き続き在園できるように対応している。

問 現在、1、500人いる特別養護老人ホーム待機者の実態からも大幅に増やした増設計画にすべき。答 特養ホームなどの整備は、入所希望者数の推移や居室介護の状況、他の介護施設の整備状況などを踏

まえ整備することが重要。

問 JR蒲田と京急蒲田間の100円バスと空港までのシャトルバスで十分。新空港線「蒲溝線」は白紙撤回すべき。答 新空港線「蒲溝線」整備を実現するため、国や都、鉄道事業者などに対して強く働き掛けたい。

問 区の施設全てに太陽光発電を採用すべき。原発に頼らない電力供給が可能となる。個人住宅・マンションへの太陽光発電の助成は枠を広げ、予算増額すべき。答 住宅用太陽光発電への設置助成は4年間に1、588件。25年度480件の助成を予定。区の施設への太陽光発電導入は、指針に基づき、可能な限り導入に取り組む。

問 抜本的な中小商工業対策・円安対策を

問 材料費が大幅値上げになって価格転嫁が難しいクリーニング業、豆腐屋、パン屋さんなどの業種に直接支援を行い、国・都に要請するなど適切な支援を求める。答 区としては、各産業団体などの実態を引き続き注視していく。



写真は、4月にオープンした認可保育所「ケンパ池上」。池上図書館、池上本門寺の近くに位置し、少人数制や子ども自身が遊具・教具を選べるよう環境設定されたプレイコーナーなどの特色がある。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



写真は、3月にアメリカで開催された国際大会に、史上初の国産ボブスレーとして参戦した下町ボブスレー。区内町工場の技術力を生かした開発というアイデアは、職員提案により生まれた。

全ての人が輝く、未来をつくる区政運営を

大田区議会公明党 松本 洋之

「産業連携」

大田区産業と川崎市産業の特性を踏まえ、産業連携によりお互いが享受するメリットと効果はどのようなものが考えられるか、ライノベーション特区との関わりを含め伺う。

答 双方の連携・協力により、これまでの様々な分野での受発注の拡大が期待される。相乗効果的に企業の成長を促し、互いの地域の産業競争力を強化していく。

問 京浜臨海部の持つものづくり産業の連携や物流機能の向上を図ることや、成田空港との緊密な連携性を確保することは喫緊の課題。国道357号の川崎方面への延伸問題を改めて、より一層国や都へ整備促進に向け働き掛けることが重要では。

答 国道357号の持つ広域的な役割と区内の交通負荷改善の両面から最重要課題と位置付け、より一層の働き掛けを行うと共に、特区间連携の検討会の場なども活用して取り組んでいく。

問 国際展示会への出展は、現在どう

ういう業種の企業が何社参加予定か。

答 11月にドイツで開催されるコンパメッド2013に、区内企業4社と区産業振興協会が初出展予定。また、上海、広州、台湾及びタイにおいて、金属加工など23社の出展と現地企業との商談会及び区の工業や企業のPRを行う予定。

問 スイスのヴォー州などとの連携や国際展示会への出展などを足掛かりにして、欧州市場の開拓を進めていただきたい。今後の海外への産業展開について区長の決意を伺う。

答 従来の海外取引引き相談業務を更に充実させると共に、海外展示会や商談会開催の事業も効果的に支援する。欧州市場では、現地とのコミュニケーションがスムーズに進むシステムを構築していく。

「人材育成と人事評価」
問 20年度から職員提案制度の普及推進を行っているが、取り組みの現状及び成果と共に、提案が採用された場合の職員の待遇がどう処遇されたか伺う。

答 これまでに93件の提案があり、21件を採用した。下町ボブスレーも、この職員提案の仕組みから生まれたアイデアである。区の人事考課制度は、チャレンジ精神を持って職務に取り組んだ者を評価する仕組みとしており、職員提案への取り組みは、これにかなう行動として積極的に評価されるべきものと考えている。

問 仕事の成果を適正に評価して任用や給与面に反映させていく仕組みに取り組みしていくことが、職員のモチベーションを高める方策と考えるが。

答 24年度から職員全員を対象に評定結果を明示しており、職員の能力開発、人材育成の一層の推進や勤務評定の透明性・納得性の向上を図っている。

「認知症対策」
問 要介護度改善に伴う成功報酬制度の導入について、区としての見解を伺う。

答 要介護度改善に伴う成功報酬制度は、導入している自治体の実施状況を十分に把握し、制度の有効性を研究する。

問 心身機能活性運動療法の調査研究を行うと共に介護事業に取り入れることを要望する。また、心身機能活性運動療法の区内拠点の設置を要望するが、いかがか。

答 改善効果が注目されており、今後有効性について検討する。

「不登校対策の総合的施策」
問 相談学級の果たす役割は大きく、受け入れ枠の拡大を強く求めるが、所見を伺う。

答 現在相談学級で実施している小

集団での学習指導を適応指導教室の授業形態の一つに加えることを、おおた教育振興プランの後期の策定の中で検討していく。

問 発達障がいにより不登校になるケースがあると聞く。こうした子どもたちを何とか助けるべき。どのような指導を行っているか伺う。

答 各学校では、個別の指導計画を作成し組織的な対応を行っている。今後は、就学相談の更なる充実を含め、学習環境の提供を図り、意欲を育むと共に、適応指導教室における学習支援を充実していく。

問 (仮称)発達障がい者支援計画の策定は大いに期待できる。計画の中で、就学後の療育はどのような方向性で考えているのか。

答 ライフステージに応じた切れ目のない支援を一層充実したい。就学後の療育を含む学齢期の支援体制は、関係者の意見なども十分聞き、相談や療育支援の在り方を検討していく。

問 適応指導教室も大きな役割を果たしてきた。地域特性や交通の便を考え調布地域にも必要。区内4番目の設置に関し所見を伺う。

答 25年度中に大森地区又は調布地区に増設する予定。実現に向けて候補地の選定を行っている。

問 徹底して子ども、保護者の視点で課題の解決を考え行動するスクールソーシャルワーカーが絶対に必要である。スクールソーシャルワーカーの活用を図るべきでは。

答 スクールソーシャルワーカーの活用は有用と考えており、今後、配置や巡回相談など活用方法を具体的に検討していく。

災害に強いまち、生活しやすい大田区の実現

大田区議会民主党 馬橋 靖世

「区の財政状況と展望」

問 財政状況が健全な今、魅力あるまちづくり、18色の地域力向上という目標にどのようなビジョンを持っているか。

答 地域力と国際都市を基本として、地域力が区民の暮らしを支えるおたを実現していきたい。

「魅力あるまちづくり」
問 各地域の防災力の集積が区の地域防災計画で掲げる総合防災力の向上に直結すると考えるがどうか。

答 地域が知恵を出し合い、地域の特色に応じた訓練に取り組んでいる。特色ある活動の紹介、広報に努めると共に、地域の防災力を結集させ総合防災力向上に努める。

問 平常時から学校防災活動拠点本部会議と特別出張所は密に連携しており、各地域や避難所の要望に応じた資機材・備蓄物品などが速やかに配備できる仕組み作りが必要であると考えるが、いかがか。

答 地域から特性や運営方法の違いに考慮した資機材配備の要望があり、25年度は、必要な資機材について避難所ごとの要望に合わせて購入していく。学校防災活動拠点化を図る上で、避難所の要望に応じた弾力的な運営と資機材の配備が可能となるように努めていく。

「保育サービスについて」
問 25年度から国も新たな法律にのっとり地域子ども子育て支援事業を大きく改定し、取り組みを始めている。区として今後の保育サービス基盤拡充についての考え方に変化はあるか。

答 ニーズ調査を実施した上で、保護者や子育て支援事業の関係者などの意見も十分に聞き、検討する。問 地域によって保育サービスの需給のバランスに偏りがあるので、保育コンシェルジュのような専門相談員を出張所に配置するの

が望ましいと考えるが、いかがか。

答 待機児童などの保育ニーズの状況は地域によって異なるため、地域の実情を十分に把握した上で、保護者にきめ細かな助言ができる仕組み作りを検討している。

問 調布地域に保育園が足りない、スポーツ施設が欲しいという声が多くある。調布地域における保育サービスやスポーツ施設について、これからの展望を伺う。

答 緊急性のある保育園は重点的にその地域に作っていくよう心掛けていく。調布地区に大きな体育館がないことはよく認識している。

「産業と工業について」
問 アジアヘッドクォーター特区について、その後の進捗と成果はいかがか。

答 規制緩和やまちづくりを組み合わせた戦略的企業誘致を進めている。問 羽田空港整備跡地の活用について国際戦略総合特区の経過を踏まえ、今後の戦略構想を伺う。

答 現在、特区制度を活用して空港跡地の処分条件緩和を求めている。

産業支援機能とMICE誘致戦略を担う区の拠点として様々な観点から減額譲渡の必要性を訴える。問 羽田空港整備跡地という世界でも稀に見る好条件を持った土地をどのように活用していくべきか。

答 ものづくり中小企業の集積を維持・強化し、地域の活性化と日本の国際競争力の向上に寄与する産業交流の拠点形成を目指している。



写真は、24年11月に行われた大森第六中学校での学校防災活動拠点の運営訓練の様子。訓練では、避難所や活動拠点本部などを設置し、中学生も支援活動の主体となって訓練に参加した。

第3回定例会の予定

9月	10月
18日 本会議(第1日)	1日 委員会
19日 本会議(第2日)	2日 決算特別委員会
20日 決算特別委員会	3日 決算特別委員会
24日 常任委員会	4日 決算特別委員会
25日 議会運営委員会	8日 決算特別委員会
26日 特別委員会	9日 決算特別委員会
30日 議会運営委員会	11日 議会運営委員会
	15日 本会議(第4日)
	決算特別委員会

○ 請願・陳情の締め切り
第1次分 9月10日(火)、第2次分 9月18日(水)

※ 以上は予定であり、実際の日程は、定例会開催前の議会運営委員会で決定します。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

自由民主党大田区民連合

押見 隆太

「財政について」

問 今後、アベノミクス効果による景気動向を受けて、区財政はどのような見通しになると考えるか。

答 増収による歳入確保が想定されるという要素はあるものの、景気動向を注視し、中期的に財政状況を分析する必要がある。

問 25年度予算では、特別区債の発行額は対前年度と同程度に抑え、財政基金の繰り出し額の増額により財源を確保している。今後の区債発行について、どう考えるか。

答 基金残高と区債残高のバランスに留意しながら、歳入確保策の一環として、計画的な財政運営により培ってきた区債の発行余力を活用していく一方、財政規律を堅持し、財政の健全性を確保する前提で財政運営を行っていく。

問 歳入増が見込まれるのであれば、公共施設整備資金積立基金を増額し、将来の財政負担に備えるべきと考えるが、いかがか。

答 中期的な視点で将来負担に備えるため、公共施設整備資金積立基金を確保することは極めて重要。

問 新たに学校改築を行う場合、今後も複合化を推進していくのか。

答 複合施設化を含め、より効果的な学校作りを検討していく。

問 今後既存の校舎にフレンドリー、保育園などを置き込み、学校における複合化を進めるのか。

答 学校の教育環境に影響のない範囲で、使用可能な教室や校庭などの利活用について検討していく。

問 学校に児童保育・子育て支援機能施設を置き込む場合、近隣の児童館などの再配置や機能集約の検討が必要と考えるが、いかがか。

答 地域の児童保育のニーズなどをよく見極め、効果的、効率的な施設配置となるよう適切に対応する。

問 どのような支援の向上が図られるのか。

答 難病患者が障害福祉サービスなどの対象となったことや、障がい者理解を深めるための研修や人材育成事業の追加など。

問 難病患者が受けられる障害福祉サービスとは何か。

答 居宅介護・機能訓練や補装具・日常生活用具の給付などを受けられる対象となった。

問 難病患者は、障がい者という扱いはないか。

答 医師の診断書などにより政令で定められた対象疾患であることを確認できれば、障害福祉サービスなどを受けられる。

問 今回、障害福祉サービスの対象外となる難病患者の支援や医療費助成は、今後どうなっていくのか。

答 区では国制度の特定疾患医療56疾病を含む82疾病を対象。医療費は収入に応じて助成している。

問 第2回副反応検討部会で、接種の一時中止に対する結論が出るまで接種を中止すべきだ。

答 国の検討の動向を注視する。

問 25年度の目標を300名から450名に増やし、待機児解消の取り組みを強化している。保育サービスを含めたニーズ調査を行い、子ども・子育て支援事業計画を策定していく。

問 保育ニーズを把握するため、母子手帳配付時や出生届提出時に保育所の入所希望の有無の確認などアンケートをすべき。

答 子育て支援に関するニーズ調査を実施予定であり、保育ニーズを把握していく。

問 区としても保護者の一番のニーズである認可保育所の整備を中心に行うべき。補正予算を組んでも年度内に対応すべき。

答 認可保育所の整備だけではなく、多様な保育ニーズに応えるため、総合的な施策展開を図っていく。認可保育所に入れない保護者に對して、一人1万円、二人目から2万円の助成では少な過ぎる。助成額の引き上げを求める。

答 認証保育所の保護者負担軽減策は、今後の研究課題とする。

「この子にも行き届いた教育のために」

問 小中学校全学年の少人数学級の実施を求める。

答 学級編制基準の見直しや教員の加配について、引き続き国や都の動向を注視する。

問 24年10月から、児童館で障がいを持つ4年生以上の受け入れを試験的に5館で行っている。障がい児への介助員には要資格者での対応を求める。

答 高学年の要支援児対応などの研修を実施し、きめ細かな保育に努めている。

「児童館の民間委託の中止を」

問 児童館の運営を民間に委託することをやめ、児童指導職の採用を行い、区の責任で運営することを求める。

答 児童館の運営業務委託は計画どおり進めていく。職員の採用は、現在考えていない。

「ユスリカ対策について」

問 ユスリカの大量発生を防ぐため、高度処理水の更なる水質良化と放水量を増やすように都に求めるべき。現地の対策として、呑川の川底の清掃をしっかりと行うと共に、呑川の側面の清掃をすべき。

答 清掃回数を年間4回から43回に増やしている。今後とも強化して取り組んでいく。



日本共産党大田区議員

福井 亮二

「待機児ゼロの大田区を」

問 区が待機児として発表した438人が、保育所に入れないか緊急に調査すべき。児童福祉法では、保育に欠ける児童は適切な保護をしなければならぬとあり、区としてこの待機児に対して保育所に入れる対策をとるべき。

答 入所承諾となった場合のお子さんの保育の状況について、すでに確認している。25年4月時点の待機児は、大変厳しい状況となっており、できる限り早急に対策に取組み、保育サービス基盤の拡充に努める。

問 区として待機児ゼロを目指すことを明確にし、26年度で待機児をゼロにするようスピード感ある対策をとるべき。

答 25年度の目標を300名から450名に増やし、待機児解消の取り組みを強化している。保育サービスを含めたニーズ調査を行い、子ども・子育て支援事業計画を策定していく。

問 保育ニーズを把握するため、母子手帳配付時や出生届提出時に保育所の入所希望の有無の確認などアンケートをすべき。

答 子育て支援に関するニーズ調査を実施予定であり、保育ニーズを把握していく。

問 区としても保護者の一番のニーズである認可保育所の整備を中心に行うべき。補正予算を組んでも年度内に対応すべき。

答 認可保育所の整備だけではなく、多様な保育ニーズに応えるため、総合的な施策展開を図っていく。認可保育所に入れない保護者に對して、一人1万円、二人目から2万円の助成では少な過ぎる。助成額の引き上げを求める。

答 認証保育所の保護者負担軽減策は、今後の研究課題とする。

「この子にも行き届いた教育のために」

問 小中学校全学年の少人数学級の実施を求める。

答 学級編制基準の見直しや教員の加配について、引き続き国や都の動向を注視する。

問 24年10月から、児童館で障がいを持つ4年生以上の受け入れを試験的に5館で行っている。障がい児への介助員には要資格者での対応を求める。

答 高学年の要支援児対応などの研修を実施し、きめ細かな保育に努めている。

「児童館の民間委託の中止を」

問 児童館の運営を民間に委託することをやめ、児童指導職の採用を行い、区の責任で運営することを求める。

答 児童館の運営業務委託は計画どおり進めていく。職員の採用は、現在考えていない。

「ユスリカ対策について」

問 ユスリカの大量発生を防ぐため、高度処理水の更なる水質良化と放水量を増やすように都に求めるべき。現地の対策として、呑川の川底の清掃をしっかりと行うと共に、呑川の側面の清掃をすべき。

答 清掃回数を年間4回から43回に増やしている。今後とも強化して取り組んでいく。



大田区議会緑の党

野呂 恵子

問 池上長寿園の歴史的経緯と、区立特別養護老人ホームの評価は。

答 先駆的役割は大きく、リーダー的役割と認識している。

問 民間営利は区内特養の底上げなしに、高齢者や家族を支えられない。

答 区内特養全体の底上げを図る。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種で重篤な副反応の少女や家族へ誠意ある対応について区の考えを問う。

答 ご家族に寄り添い、困っていることは相談していただけるよう信頼関係を築き継続した支援をする。副被害を食い止めるため、接種は義務ではないと記載すべき。

問 ホームページを訂正。接種対象者の方々に同様の案内送付を検討。

問 池上長寿園の歴史的経緯と、区立特別養護老人ホームの評価は。

答 先駆的役割は大きく、リーダー的役割と認識している。

問 民間営利は区内特養の底上げなしに、高齢者や家族を支えられない。

答 区内特養全体の底上げを図る。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種で重篤な副反応の少女や家族へ誠意ある対応について区の考えを問う。

答 ご家族に寄り添い、困っていることは相談していただけるよう信頼関係を築き継続した支援をする。副被害を食い止めるため、接種は義務ではないと記載すべき。

問 ホームページを訂正。接種対象者の方々に同様の案内送付を検討。

問 池上長寿園の歴史的経緯と、区立特別養護老人ホームの評価は。

答 先駆的役割は大きく、リーダー的役割と認識している。

問 民間営利は区内特養の底上げなしに、高齢者や家族を支えられない。

答 区内特養全体の底上げを図る。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種で重篤な副反応の少女や家族へ誠意ある対応について区の考えを問う。

答 ご家族に寄り添い、困っていることは相談していただけるよう信頼関係を築き継続した支援をする。副被害を食い止めるため、接種は義務ではないと記載すべき。

問 ホームページを訂正。接種対象者の方々に同様の案内送付を検討。

問 池上長寿園の歴史的経緯と、区立特別養護老人ホームの評価は。

答 先駆的役割は大きく、リーダー的役割と認識している。

問 民間営利は区内特養の底上げなしに、高齢者や家族を支えられない。

答 区内特養全体の底上げを図る。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種で重篤な副反応の少女や家族へ誠意ある対応について区の考えを問う。

答 ご家族に寄り添い、困っていることは相談していただけるよう信頼関係を築き継続した支援をする。副被害を食い止めるため、接種は義務ではないと記載すべき。

問 ホームページを訂正。接種対象者の方々に同様の案内送付を検討。



松原忠義区長

「防災・減災の取り組み」

南海トラフ巨大地震の被害想定は、首都直下地震などより低いとされており、事前の防災・減災に努めることで、被害を軽減できるとされています。

地域の総合防災力を高める取り組みを着実に進め、区民の皆さんと連携して、防災・減災を推進します。

「区内企業の市場開拓支援」

景気の回復傾向を産業の活性化

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

第2回定例会で決まった議案など



◎は全会一致
◆は賛成者多数

区長提出議案

平成25年度補正予算

◆一般会計(第2次)

5、219万9千円増額する(詳細は、左記に掲載)。

条例の一部改正

◎大田区営住宅条例

借り上げによる住宅としてシルバニア・ハイム果林を新設する。

◎大田区民住宅条例

区民住宅の空き室について、家庭的保育事業を行う施設として活用するに当たり、区民住宅としての用途を廃止する。

◎大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例

公務災害補償の補償基礎額を改定するほか、規定を整理する。

契約の締結

◆大田区西糀谷四丁目付近管渠改良工事(下水道)請負契約

契約金額…2億2,890万円、契約の相手方…リック・南武建設

工事共同企業体

◆大田区田園調布一、二丁目付近枝線工事(下水道)請負契約

契約金額…1億8,060万円、契約の相手方…佐々木・大濱建設

工事共同企業体

◆大田区仲六郷一丁目付近管渠改良工事(下水道)請負契約

契約金額…1億6,852万5,000円、契約の相手方…醍醐・北林建設

工事共同企業体

◎仮称大田区立障がい者総合サポートセンター新築工事請負契約

契約金額…8億7,024万円、契約の相手方…北信・大光・協和建設

工事共同企業体

◆大田区立石川台中学校屋内運動場全面改修その他工事請負契約

契約金額…1億9,425万円、契約の相手方…山田・新保建設

工事共同企業体

◆大田区立蓮沼中学校外壁改修その他工事請負契約

契約金額…1億6,590万円、契約の相手方…サンユー・幸建設

工事共同企業体

◎仮称大田区立障がい者総合サポートセンター新築電気設備工事請負契約

契約金額…1億7,745万円、契約の相手方…中央・トモエ・豊岡建設

工事共同企業体

◆仮称大田区立障がい者総合サポートセンター新築機械設備工事請負契約

契約金額…2億3,415万円、契約の相手方…塩谷・アトック建設

工事共同企業体

訴えの提起

◎建物明渡し等の請求に関する民事訴訟の提起

・訴訟の目的の価額…109万6,118円
・訴訟の目的の価額…261万3,065円

報告

平成24年度大田区繰越明許費繰越計算書

平成24年度大田区事故繰越し繰越計算書

区が出資する法人の経営状況に関する書類の提出

・大田区土地開発公社

・公益財団法人大田区文化振興協会

・公益財団法人大田区産業振興協会

・蒲田開発事業株式会社
・公益財団法人大田区体育協会

区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

・中学校から飛び出したボールによる建物損傷事故

処分日…平成25年4月25日、賠償金額…44万2,102円

工事請負契約に係る専決処分

・新馬込橋架替工事請負契約

処分日…平成25年5月8日、契約金額を14億9,625万円から14億9,088万8,700円に変更する。

仲之橋架替工事(建132)請負契約

処分日…平成25年5月7日、契約金額を3億4,996万5,000円から3億5,955万2,550円に変更する。

選任に伴う同意

副区長

◎幸田 昭一

議員選出監査委員

◆大森 昭彦

人権擁護委員候補者の推薦

◎日野 春代(再任)

◎梅澤 能理道(新任)

◎須賀 伸子(新任)

平成25年度一般会計補正予算(第2次)を可決

第2回定例会に提出された平成25年度一般会計補正予算(第2次)は、区立特別養護老人ホーム等民営化検討に要する予算など、総額5,219万9千円を増額するものです。今回の一般会計補正予算で計上された事業は、以下のとおりです。

一般会計補正予算(第2次)の内容

総務費

- ・学校避難所運営協議会・地域防災の推進
……………695万9千円
中学校防災活動拠点整備校、生徒用災害ボランティア活動安全確保用ヘルメットの追加配備
- ・避難標識等管理……………395万4千円
避難場所の変更に伴う避難標識の改修及び周知用シールの作成

福祉費

- ・福祉システムに係る経費……………462万円
生活保護基準見直しに伴う生活保護システム等の改修
- ・区立特別養護老人ホーム等民営化検討
……………1,030万4千円
区立特別養護老人ホーム等民営化検討経費
- ・老人いこいの家管理運営費……………366万8千円
東糀谷老人いこいの家空調設備改修工事
- ・家庭福祉員制度経費……………562万6千円
(仮称)大森西グループ保育室の開設備及運営
- ・児童館等管理運営費……………289万3千円
(仮称)フレンドリー高畑の開設備

産業経済費

- ・産業プラザ維持管理費……………1,417万5千円
産業プラザの特別高圧断路器交換工事

意見が異なった議案などに対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対 棄権：採決に加わらなかった

件名	会派名(所属議員数)									結果	
	自由民主党大田区民連合	大田区議会公明党	日本共産党大田区議団	大田区議会民主党	無所属の会	大田区議会緑の党	大田区議会みんなの党	大田・生活者ネットワーク	改革民主党		
平成25年度大田区一般会計補正予算(第2次)	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決	
契約の締結	大田区西糀谷四丁目付近管渠改良工事(下水道)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
	大田区田園調布一、二丁目付近枝線工事(下水道)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
	大田区仲六郷一丁目付近管渠改良工事(下水道)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
	大田区立石川台中学校屋内運動場全面改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
	大田区立蓮沼中学校外壁改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
	仮称大田区立障がい者総合サポートセンター新築機械設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	可決
議員提出議案	×	×	○	×	×	×	×	×	×	否決	

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

第2回定例会の請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので今回採決したものの結果は次のとおりです。かっこ内が審査結果です。

地域・産業委員会

所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願（不採択）

保健福祉委員会

「子宮頸がんワクチン接種事業の見直し、健全な教育を求める」陳情

情（継続）

子宮頸がんワクチン接種に対し、「副反応の十分な説明」を行うことに関する陳情（継続）

「子宮頸がんワクチン接種事業の見直しを求める」陳情（継続）

「子宮頸がんワクチン接種事業の見直しを求める」陳情（継続）

都市・環境委員会

大田と品川の公園をつなぐ、散策路の整備に関する陳情（採択）

子ども文教委員会

子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情（不採択）

防災・安全対策特別委員会

大規模災害時における特別出張所の地域災害対策本部体制（地域指令所）の構築を求める陳情（継続）
大田区工業技術による木造密集火災用大面積消火ノズルの市民消防隊等へ配置要望の陳情（継続）

友好都市・姉妹都市から大田区議会に来訪

秋田県美郷町議会（平成25年6月19日）

大田区の友好都市である秋田県美郷町から、高橋猛議長をはじめとする議員16名と松田知己町長が、大田区議会を訪れました。高瀬三徳議長をはじめとする大田区議会議員との懇談の中で、今後の両都市間での更なる友好関係の発展について意見交換し、その後、大田区議会議場を視察しました。



秋田県美郷町からの訪問団と大田区議会議員

セーラム市民訪問団（平成25年7月3日）

大田区の姉妹都市であるアメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市から、16名の市民訪問団とその関係者が大田区議会を訪れました。高瀬三徳議長をはじめとする大田区議会議員と懇談し、大田区とセーラム市が引き続き、友好を深めていくことを互いに確認しました。



セーラム市民訪問団と大田区議会議員

請願・陳情はどなたでも出せます

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 請願・陳情の趣旨は、簡潔、明瞭に書き、内容が数種類に及ぶ場合には、それぞれ別の請願・陳情に分けてください。
- 3 請願・陳情の件名は、原則として40字以内にしてください。
- 4 請願・陳情者の押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 5 署名簿がある場合は、請願・陳情の後に付けてください。
- 6 大田区議会では、原則として請願と陳情の審査は同じ扱いです。
- 7 受付は、土・日曜、休日を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局で行っています。

年 月 日

(宛先) 大田区議会議長

請願者（陳情者）
住所
氏名
電話番号
紹介議員（陳情には不要）

○○○○に関する請願（陳情）

請願（陳情）の趣旨 40字以内

1 _____
2 _____

理由

●陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- ①著しく個人、団体などをひぼう、中傷し、名誉毀損、信用失墜のおそれがあるもの
- ②脅迫、恐喝など、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- ③郵送されたもの
- ④住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- ⑤同一期でおおむね一年を経過していない同趣旨のもの
- ⑥マンション紛争など、私人間で解決すべき内容を含むもの
- ⑦既に願意が達成されていると思われるもの
- ⑧その他議長が審査になじまないと判断したもの

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

☎5744-1473

傍聴をお待ちしております

議会活動に触れる身近な方法に傍聴があります。本会議の傍聴は区役所本庁舎 11 階の傍聴受付までお越しください。

傍聴席は、椅子席 69 席、車椅子用スペース 3 席、親子席 4 席の計 76 席となっています。

親子席はガラス張り防音となっており、お子様連れでも安心して傍聴ができます。



傍聴席へのカメラなど撮影機材の持ち込みや傍聴席での撮影・録音などは原則として禁止されています。



ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

大田区議会議員（議席と議会構成）

平成25年6月21日現在
定数：50人 現員：47人

(自 民)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(民 主)	(民 主)	(共 産)	(共 産)	(共 産)				

(自 民)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(無所属)	(民 主)	(民 主)	(共 産)	(共 産)				

(自 民)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(公 明)	(緑)	(改革民主)	(民 主)	(共 産)	(共 産)				

(自 民)

自民	自由民主党大田区民連合	☎5744-1480
公明	大田区議会公明党	☎5744-1488
共産	日本共産党大田区議団	☎5744-1477
民主	大田区議会民主党	☎5744-1475
無所属	無所属の会	☎5744-1478
緑	大田区議会緑の党	☎5744-1479
みんな	大田区議会みんなの党	☎5744-1476
ネット	大田・生活者ネットワーク	☎5744-1673
改革民主	改革民主党	☎5744-1672

(みんな)	(ネット)	(共 産)	(共 産)

議長 高瀬 三徳	副議長 丸山 かよ	特別委員会 ◎：委員長 ○：副委員長																														
常任委員会 ◎：委員長 ○：副委員長																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>委員会名</th> <th colspan="4">委員氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務財政委員会</td> <td>◎岸田 哲治 松原茂登樹 清水 菊美</td> <td>○勝亦 聡 松本 洋之 大竹 辰治</td> <td>松原 秀典 山崎 勝広</td> <td>安藤 充 森 愛</td> </tr> <tr> <td>地域・産業委員会</td> <td>◎清波 貞子 広川恵美子 黒沼 良光</td> <td>○海老澤圭介 岡 高志 (欠員)</td> <td>大森 昭彦 荒木 秀樹</td> <td>富田 俊一 沼田 秀弘</td> </tr> <tr> <td>保健福祉委員会</td> <td>◎塩野目正樹 伊藤 和弘 和田 正子</td> <td>○福井 亮二 飯田 茂 (欠員)</td> <td>田中 一吉 大橋 武司</td> <td>高瀬 三徳 津田 智紀</td> </tr> <tr> <td>都市・環境委員会</td> <td>◎岡元 由美 玉川 英俊 藤原 幸雄</td> <td>○深川 幹祐 黒川 仁 (欠員)</td> <td>押見 隆太 北澤 潤子</td> <td>秋成 靖 金子 悦子</td> </tr> <tr> <td>こども文教委員会</td> <td>◎鈴木 隆之 長野 元祐 佐藤 伸</td> <td>○馬橋 靖世 丸山 かよ 菅谷 郁恵</td> <td>水井 達興 田村 英樹</td> <td>伊佐治 剛 野呂 恵子</td> </tr> </tbody> </table>	委員会名	委員氏名				総務財政委員会	◎岸田 哲治 松原茂登樹 清水 菊美	○勝亦 聡 松本 洋之 大竹 辰治	松原 秀典 山崎 勝広	安藤 充 森 愛	地域・産業委員会	◎清波 貞子 広川恵美子 黒沼 良光	○海老澤圭介 岡 高志 (欠員)	大森 昭彦 荒木 秀樹	富田 俊一 沼田 秀弘	保健福祉委員会	◎塩野目正樹 伊藤 和弘 和田 正子	○福井 亮二 飯田 茂 (欠員)	田中 一吉 大橋 武司	高瀬 三徳 津田 智紀	都市・環境委員会	◎岡元 由美 玉川 英俊 藤原 幸雄	○深川 幹祐 黒川 仁 (欠員)	押見 隆太 北澤 潤子	秋成 靖 金子 悦子	こども文教委員会	◎鈴木 隆之 長野 元祐 佐藤 伸	○馬橋 靖世 丸山 かよ 菅谷 郁恵	水井 達興 田村 英樹	伊佐治 剛 野呂 恵子		
委員会名	委員氏名																															
総務財政委員会	◎岸田 哲治 松原茂登樹 清水 菊美	○勝亦 聡 松本 洋之 大竹 辰治	松原 秀典 山崎 勝広	安藤 充 森 愛																												
地域・産業委員会	◎清波 貞子 広川恵美子 黒沼 良光	○海老澤圭介 岡 高志 (欠員)	大森 昭彦 荒木 秀樹	富田 俊一 沼田 秀弘																												
保健福祉委員会	◎塩野目正樹 伊藤 和弘 和田 正子	○福井 亮二 飯田 茂 (欠員)	田中 一吉 大橋 武司	高瀬 三徳 津田 智紀																												
都市・環境委員会	◎岡元 由美 玉川 英俊 藤原 幸雄	○深川 幹祐 黒川 仁 (欠員)	押見 隆太 北澤 潤子	秋成 靖 金子 悦子																												
こども文教委員会	◎鈴木 隆之 長野 元祐 佐藤 伸	○馬橋 靖世 丸山 かよ 菅谷 郁恵	水井 達興 田村 英樹	伊佐治 剛 野呂 恵子																												
議会運営委員会 ◎：委員長 ○：副委員長																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">委員氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎安藤 充</td> <td>○広川恵美子</td> <td>田中 一吉</td> <td>大森 昭彦</td> <td>松原茂登樹</td> </tr> <tr> <td>松本 洋之</td> <td>勝亦 聡</td> <td>津田 智紀</td> <td>福井 亮二</td> <td>大竹 辰治</td> </tr> </tbody> </table>	委員氏名					◎安藤 充	○広川恵美子	田中 一吉	大森 昭彦	松原茂登樹	松本 洋之	勝亦 聡	津田 智紀	福井 亮二	大竹 辰治																	
委員氏名																																
◎安藤 充	○広川恵美子	田中 一吉	大森 昭彦	松原茂登樹																												
松本 洋之	勝亦 聡	津田 智紀	福井 亮二	大竹 辰治																												
		各党派幹事長																														
		自由民主党大田区民連合 松原茂登樹																														
		大田区議会公明党 松本 洋之																														
		日本共産党大田区議団 大竹 辰治																														
		大田区議会民主党 山崎 勝広																														
		議員選出監査委員																														
		大森昭彦 富田俊一																														
		区議会だより編集委員会																														
		委員長 高瀬三徳(議長)																														
		副委員長 丸山かよ(副議長)																														
		委員 海老澤圭介(自民)																														
		委員 広川恵美子(公明)																														
		委員 福井亮二(共産)																														
		委員 津田智紀(民主)																														

※奈須利江議員（大田・生活者ネットワーク）及び柳瀬吉助議員（大田区議会みんなの党）は、平成25年6月11日付で辞職しました。